（様式１）　新規評価総括表

事業種類	治山・砂防	事業名	水源地域等保安林整備

林務部　森林づくり推進課

番号	市町村名	（ふりがな）箇所名	事業概要	全体事業費（千円）	H26年度事業費（千円）	完了予定年度	箇所評価 必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点	部意見	行政改革課意見	現地調査	申請	採択	備考
1	伊那市	竜西（りゅうさい）	谷止工 7個 森林整備 50.00ha	220,000	25,000	H29	18	10	8	32	12	80	H25年台風18号災により被災した県道への土砂災害を防止するため、早急に対策工事を実施する必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。		○	○	
2	飯田市	野底山（のそこやま）	山腹工 0.35ha 流路工 90m 森林整備 50.00ha	160,000	47,700	H28	15	8	7	36	12	78	豪雨の度に、渓流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	荒廃林地及び崩壊地が点在しており、今後の降雨等により崩壊が拡大する恐れがあるため、必要性、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
3	小谷村（おたりむら）	千国東（ちくにひがし）	谷止工 2個 山腹工 0.50ha 落石固定工0.5ha 森林整備 23.00ha	300,000		H31	16	8	4	34	15	77	対策の必要性は感じられるが、事業区域の設定範囲が大きく、一部調査不足のものがある。個々の箇所の重要性・緊急性を整理したうえでの事業計画の樹立が望ましい。	姫川段丘の上部に巨石が露頭しており、必要性、重要性、緊急性が認められる。 周辺の状況調査、対策工法の検討が必要である。	○			
合計			3箇所															